

船舶事故調査報告書

平成28年1月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

| | |
|---|--|
| 事故種類 | 乗組員死亡 |
| 発生日時 | 不明（平成27年7月14日 08時00分ごろ～17時46分ごろの間） |
| 発生場所 | 島根県松江市青木島北西方沖 |
| 事故の概要 | 漁船かもめ丸は、操業中、船長が死亡した。 |
| 事故調査の経過 | 平成27年7月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 | 漁船 かもめ丸、1.22トン SN3-14226（漁船登録番号）、個人所有 4.88m（Lr）×1.73m×0.66m、FRP ガソリン機関、30kW（動力漁船登録票による）、昭和55年4月28日 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長 男性 82歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年6月11日 免許証交付日 平成24年12月26日 （平成30年12月22日まで有効） |
| 死傷者等 | 死亡 1人（船長） |
| 損傷 | なし |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、水温 約23℃ |
| 事故の経過 | 本船は、船長が1人で乗り組み、ウエットスーツを着用し、青木島周辺で素潜り漁を行うため、平成27年7月14日08時00分ごろ自宅を出て係留地から出航し、その後、青木島北西方沖で錨泊を始めた。 船長の家族は、ふだんであれば14時00分ごろ～14時30分ごろまでに帰宅する船長が帰ってこないのに、本船の係留地付近で待っていたが、素潜り漁の終了時刻になる15時ごろになっても本船が帰港しないので、僚船に捜索を依頼した。 僚船の船長は、17時08分ごろ、青木島北西方沖で無人で錨泊中 |

| | |
|---|---|
| | <p>の本船を発見し、本船が所属する漁業協同組合経由で海上保安庁に通報を行った。</p> <p>船長は、17時46分ごろ、青木島西岸の海面にうつ伏せで浮いているところを別の僚船に発見された。</p> <p>船長は、搬送された病院で12時過ぎごろの溺水吸引による窒息死（推定）と検案された。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図 参照）</p> |
| その他の事項 | <p>素潜り漁の作業時間は、漁業協同組合の申合せで、08時から15時までと決められていた。</p> <p>船長に持病はなく、定期的に服用する医薬品もなかった。</p> <p>船長は、本事故当日、自宅を出るとき、ふだんと変わった様子はないかった。</p> <p>船長の家族は、自宅から本船が青木島に向け航行するのを見ていた。</p> <p>船長は、発見された時、ウエットスーツ、足ひれ、水中眼鏡及び軍手を着用していた。</p> <p>発見時、本船には、衝突等の痕跡が認められなかった。</p> <p>発見時、本船には、さざえ等の漁獲物があった。</p> |
| 分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析 | <p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺水吸引による窒息死と推定された。</p> <p>本船は、船長が08時ごろ自宅を出て係留地を出航し、素潜り漁を行うために青木島北西方沖で錨泊を始めた後、17時46分ごろ船長がウエットスーツ、足ひれ、水中眼鏡及び軍手を着用した状態で海面に浮いているところを発見されたことから、この間において、作業中に溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、本船が青木島北西方沖で錨泊を始めた後、船長が作業中に溺水したことにより発生したものと考えられる。</p> |

付図1 事故発生場所概略図

